

しらかぶ 議会広報

令和2年5月発行



占冠保育所



トナム保育所



占冠中央小学校



トナム学校

ご入園・ご入学おめでとうございます

No.

162

第1回定例会

- 指定管理者を指定
- 条例の制定・改正
- 令和元年度補正予算

村政執行方針質疑

教育行政執行方針質疑

予算特別委員会

一般質問2議員

- 財政状況について
- 新最終処分場の建設計画
- 9月定例会での
質問事項の進捗状況
- 災害対策について
- 湯の沢温泉の今後のあり方



《 議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。

感染症拡大予防対策 の縮小・自粛相次ぐ

令和2年第1回定例会は、3月5日から11日まで7日間の会期で開催され、2名の議員が一般質問をしました。また、村政・教育行政執行方針の説明・質疑を行いました。条例の制定・改正や、令和元年度各会計補正予算等の審議が行われ、原案可決しました。令和2年度各会計予算については、予算特別委員会（藤岡委員長）に付託し、10日に審査・可決されました。

（傍聴 5日5人 6日2人 9日4人 11日0人）

指定管理者を指定

●道の駅自然体感しむかつぶ NPO法人占冠・村づくり観光協会に令和2年4月1日から3年間指定

条例の制定・改正

●占冠村学校運営協議会設置条例の制定

●占冠村スポーツ推進委員設置条例の制定

●職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正

●占冠村子ども・子育て会議条例の一部改正

会計年度任用職員制度導入に伴い、条例の制定及び一部を改正するものです。

●占冠村地域企業振興条例の一部改正

●占冠村定住促進条例の一部改正

既存制度を延長することに伴い、条例の一部を改正するものです。

●占冠村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

●占冠村印鑑条例の一部改正

●占冠村手数料条例の一部改正

●固定資産評価審査委員会条例の一部改正

●占冠村放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

●占冠村営住宅管理条例の一部改正

●占冠村簡易水道事業給水管理条例の一部改正

法律、基準の改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

●交流促進施設双民館設置条例の一部改正

●湯の沢保養施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

消費税率の変更に伴い、条例の一部を改正するものです。

●占冠村へき地保育所設置条例の一部改正

占冠保育所の新築に伴い、条例の一部を改正するものです。

●占冠村有償旅客自動車運送事業の設置及び管理に関する条例の一部改正

少量貨物有償運送を行うため、条例の一部を改正するものです。

令和元年度補正予算

問 歳入の未来へつなぐ森づくり推進事業補助金129万4千円、歳入の未来へつなぐ森づくり推進事業補助金190万円がそれぞれ減額になった理由を伺います。

（児玉議員）



根本林業振興室長

私有林の造林に伴う補助金であり、市町村が私有林の植林に関する経費の26%以上を補助した場合に、北海道から市町村に16%の経費が補助される仕組みとなっております。当初11件、20haの計画でしたが、実行段階で減少したため減額となりました。

問 歳入の村有林保育事業補助金262万1千円の減額理由を伺います。（児玉議員）

根本室長

実質経費の68%が道から補助を受けて実施する事業であり、村有林で実施する造林、下刈、間伐作業に関するものです。融雪後の現地確認等により面積が減少したことから全体経費が減少しました。

新型コロナウイルス によるイベント等

村長の行政報告

①トマムスキー場雪崩事故

1月30日、トマムスキー場コース外のトマム山中腹で、フランス国籍8名のグループが雪崩に遭遇し、うち男性1名が死亡する事故がありました。

8名は、バックカントリイを楽しむため、入山していたようですが、スキー場のコース外であり、入山禁止の啓発もされていたことから、入山マナーが問われるとともに、本村において死亡者が出てしまうという大変

痛ましい事故でした。

その後、山岳遭難に関する啓発チラシを、トマムリゾートを含む村内観光施設に配布しています。また、トマム山スキー場管理運営協議会において、検証・対策のため臨時総会の開催を予定しています。

今後もしリゾート及び関係機関と連携しながら、山岳事故防止の啓発を行っていきます。

②新型コロナウイルス感染症予防対策

中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年12月以降から報

告され始めた新型コロナウイルスによる感染症は、特に北海道における感染が広域的に拡大したことから2月26日に北海道知事より緊急事態宣言が出されました。2月27日には首相から感染防止のため小中高校の臨時休業が要請されるなど、大変憂慮すべき状況になっていきます。

占冠村では、2月17日に対策本部を設置し、これまで4回、予防対策を協議してきました。住民周知についても、速やかに行政区回覧やホームページでの情報発信を実施しています。また、村内公共施設の閉館等の状

況についても、その都度周知するなど、きめの細やかな対応に努めていきます。

村内小中学校では、北海道教育委員会からの要請を受け、2月27日から臨時休業を実施していましたが、その後のさらなる要請を踏まえ、3月24日まで臨時休業を延長しています。

全国的に見ても、日々感染者が増加する傾向にあり、収束が見通せない状況ですが、村としても各関係機関と連携し、感染症予防に向け全力を尽くしていきます。

令和元年度 補正予算

～第1回定例会～

一般会計(第4号)	2,550万円減
総額29億8,350万円⇒29億5,800万円	
・減債基金繰入金の減など	
国民健康保険(第3号)	650万円増
総額1億5,460万円⇒1億6,110万円	
・一般被保険者療養給付費の増など	
村立診療所(第4号)	40万円減
総額8,960万円⇒8,920万円	
・消耗品費の減など	
簡易水道(第3号)	30万円減
総額1億1,570万円⇒1億1,540万円	
・占冠浄水場機械電気更新工事の減など	
介護保険(第3号)	10万円減
総額1億1,310万円⇒1億1,300万円	
・介護給付費交付金の減など	
後期高齢者医療(第1号)	20万円増
総額1,780万円⇒1,800万円	
・保険料等負担金の増など	
歯科診療所(第2号)	20万円増
総額2,140万円⇒2,160万円	
・手数料の増	



意見書を提出

村民の声を道政の場に

○子どもの医療費無料化制度の拡充を求める意見書

決議案を可決

○「民族共生の未来を切り開く」決議について

村政執行方針質疑

▼主な施策

1 未来を拓く村政

- 地方自治の推進
- 国有林との連携
- 宿泊税
- 国際交流
- 地方創生
- 人材育成
- 北海道日本ハムファイターズ 応援大使

2 経済循環が図られる 基幹産業の振興

- 農業・酪農・畜産・畑作振興 担い手対策
- 村有林の管理経営
- 私有林の育成支援
- 林業事業体への支援
- 林業の六次産業化
- 商工振興・トマムリゾート
- 道の駅・湯の沢温泉
- 体験型観光の推進
- ニニウキャンプ場・労働

3 地域特性を活かした 集落対策、移住・定住、 関係人口の拡大

- 移住・定住
- しむかつぶ・村づくり寄附金

五十嵐正雄 議員

1 教育支援制度とは

問 新たな取組みとして、「村内で必要な資格者の確保・育成を図るため、教育支援制度の検討を開始します。」とありますが、取組み内容を伺います。

田中村長 村内で介護・医療・保育・保健師・林業技術者の職員がなかなか確保できないので、村内や村出身の皆さんが資格を取るための支援制度を検討していきます。

2 村政を担う人材育成を

問 村では林業政策を担う人材がなかなか育っていません。道や林野庁から人材を求め、林業振興室が設置されている間に、職員の人材育成を図らなければなりません。どのように取り組んでいくのか伺います。

田中村長 林業の専門職は必要だと考えています。今年開校する道立北の森づくり専門学院の卒業生、あるいは高校林業科卒業生を採用する計画を持ちながら、専門職の育成を図っていきます。

3 森林施業プランナーとは

問 森林施業プランナーの具体的取組みを伺います。

田中村長 森林施業プランナーは、森林総合管理士等と連携しながら地域の林業を振興していくこととされています。本年2月から富良野地区森林組合担当者、村内事業体職員の

2名が有資格者となり、村の林業施業のプランニングを施行できるよう、技術等の支援を図っていきます。

4 森林環境譲与税の使途は

問 この税の使い道は、私有林と連携した森林整備を図っていくために、既存路網の維持修繕を軸に関係機関との協議を進めることとなっていますが、全国的にいろいろな使い方がされています。調査・研究をして、村に合った取組みが必要と考えますが、伺います。

田中村長 私有林の効率的な森林整備を図っていくことを目的としていますので、関係機関との協議を行いつつ、路網の維持、修繕を起点として検討を進めます。額が大きくないので、基金の積み立ても必要かと思えます。

5 林業事業体の育成

問 村内にある4事業体の育成をどのように進めていくのか伺います。

6 木質バイオマス生産組合

田中村長 森林施業技術の向上を目的とした天然林モデル施業検討会、搬出された素材の仕分け技術の向上を目的とした素材等格付け勉強会等に村内林業事業体にも参加をいただき、国有林と連携した技術支援に取り組んでいます。今後、林業事業体との情報交換を行いながら、実効性のある勉強会の開催や魅力的な取組みへの支援を図るなど、粘り強い対応をしていきます。

問 木質バイオマス生産組合の組織体制の確立をどのように進めていくのか伺います。

田中村長 村内事業体の基礎的技術の研鑽を図りつつ、既に実施している薪生産、メープルシロップ事業における生産性や品質の向上を図ることが必要であり、支援をしていきます。

7 道の駅の充実

問 道の駅エリアにある花壇として利用している民地を買い取り、道の駅の充実を図るべきと思いますが、取組みを伺います。

田中村長 道の駅周辺整備に



木質バイオマス生産組合の薪割り機械

4 安全で安心な暮らしを守る基盤づくり

- 道路
- 村営住宅
- 上下水道
- 環境衛生
- 地域交通
- 地域協働への取組
- 防災対策

5 地域医療の充実と住民ニーズに即した福祉施策

- 高齢者福祉
- 障がい者福祉
- 保健・医療

6 未来を託す子ども環境づくり

- 子育て支援環境の整備
- 多様化する教育環境に対応した体制整備
- 特色ある教育

7 行財政の概要

※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



は、この土地が必要だと思いません。理解を求める努力を継続して、ぜひ購入をしていきます。

小林 潤 議員

1 宿泊税について

問 宿泊税導入に向けた検討は、片手間でできるボリュームではないというのは明らかです。検討を担う課の人的体制をどのように考えているのか、伺います。

田中村長 観光振興税に関する懇談会に、総務課長、企画商工課長が参加し、取組みの状況を把握してきました。今後も、それぞれ導入市町村において北海道が説明会を開催しながら検討していくことです。人の配置は、北海道に係長級の職員を派遣要請しており、企画商工課の地域振興室に配置して対応したいと思っています。

問 宿泊税は、納税者が理解できるような形で、村内有識者会議の中で十分意見反映をしてもいいと思います。考えを伺います。

田中村長 宿泊税は、複雑多岐にわたっていると思っておりますので、道と調整しながら、事業者、関係者が分かりやすい課税方法を目指したいと思っています。

2 各種福祉計画の策定

問 各種福祉計画の数、また、外部委託すると300万円程度かかっていることを考えると、第2期目以降の計画は、自前で策定する努力も必要だと思います。各種福祉計画書の策定にける経費の基本的な考えについて伺います。

田中村長 占冠村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、最終的には介護保険料等の決定をしなければならぬ計画なので、これまでも職員が手作りで策定してきました。子ども・子育て支援事業計画は、ニーズ調査等があり、計画によっては補助金が付くものがあります。計画書の策定は、最終的に求められる計画の内容等を勘案しながら委託、自前を含めて検討し、決定しています。

問 福祉の各種計画書はかなり本数がありますので、自前でできる部分は介護保険事業計画の

ような形で取り組んで欲しいと思いますが、考えを伺います。

田中村長 国に求められるものについては相当レベルの高いものを要求されることもあって、委託しています。それ以外の自分たちで策定できるものについては、自分たちで作ろうと、庁内の中でも確認をしていますので、できるだけ支障のないように各種計画を策定したいと思っています。

藤岡 幸次 議員

1 村内ヘリポート指定場所

問 ささまざまな災害に対応できるように地域防災力を高めるとありますが、村内ヘリポート指定箇所はどこか伺います。

田中村長 運動公園、総合グラウンド、中トマム旧ヘリポート、トマム学校グラウンドの4箇所を決めていて、状況に応じて利用することとしています。

問 スムーズな医療、支援活動を考えたとき、双民館グラウンドも指定する必要があると思いますが、考えを伺います。

双民館グラウンド



田中村長 災害時のヘリポートは柔軟に対応し、双民館グラウンド、湯の沢温泉も可能ということで協議を進めている状況です。

2 中山間地域 直接支払制度

問 具体的にどのような制度かを伺います。

田中村長 農業生産条件の不利な中山間地域に、集落単位ごと面積に応じて一定額が交付される仕組みです。具体的には農業者に説明して活用を進めていきたいと思っています。

3 湯の沢温泉利用促進

問 令和3年アスペンとの交流30周年記念事業の中で、湯の沢温泉を活用する計画は考えているのか伺います。

田中村長 指定管理者と協議して、今後、内容を詰める段階で検討したいと思います。

4 勤労福祉会館の整備

問 具体的にどこを整備するのか。また、資金の手当てについて伺います。

田中村長 旧保育所の遊戯施設を改修して、地域労働者の憩いの場として今回予算化しています。

問 中央地区に再度、勤労福祉会館を整備することが村として正しい選択なのか。双珠別、占冠、トナム地区はどうなのか。公正な行政の観点から考えを伺います。

田中村長 施設の再利用、維持・管理費も含めて課題だとは思いますが、勤労福祉会館は必要と考えます。地域で働く人たちのいろいろな福利厚生に役立つ政策ということで提案しました。

見玉 眞澄 議員

1 宿泊税

問 宿泊税について、道と足並みを揃えた導入に向けての検討とは、ただ導入時期を合わせるのか、それとも道の方針に従う意味も含むのか伺います。

田中村長 実施時期は道の計画である令和4年4月に足並みを揃えて実施したいと考えていますが、道が決めた制度に即、村が乗るということではありません。

2 林業の六次産業化

問 マーブルシロップ事業について、今後の方向性の再検討とは、事業の廃止もあり得るのか伺います。

田中村長 マーブルシロップは、占冠の特産品として知名度も上がっており、採取地の変更を含め、未永く採取するために検討していくということです。

3 体験型観光の推進

問 通年型となると、冬期間の

対策が必要ですが、考えを伺います。

田中村長 リゾートとの協力を基としたスノーバイクツアーやアイスヴィレッジ等との連携を含めたメニューもできるかと思っています。

4 保健・医療

問 国民健康保険事業について、健全な事業運営への取組みを伺います。

田中村長 医療費の軽減、健康管理に力を置いて、また、一方では医療費を減らしていく努力も必要で、さまざまなことを使いながら健全な運営を行っています。

5 一般会計の概要

問 新年度会計で人件費が大幅に増加した要因を伺います。

田中村長 会計年度任用職員制度の導入により、物件費としていた賃金が報酬へ計上されたこと、退職する職員がいなかったこと、新規採用による職員の増員が前年比大幅増の要因となっています。



冬のサイクリング

問 会計年度任用職員制度導入による増加分はどの程度か伺います。

多田総務課長 精査をした結果、手当が発生しますので、400万円程度が上乗せされ、若干の経費増となります。

問 経常支出が増加し、財源不足は基金からの繰り入れで賄うため、貯金は目減りする一方で、将来への危機感を感じますが、考えを伺います。

田中村長 基金からの繰り入れは地方財政上、どこの自治体でもやっていることで、見直しをしながら将来にわたって持続可能な財政運営ができるように基金運営、財政運営を取り進めていきます。

下川 園子 議員

1 体験型観光の推進

問 体験型観光推進に対して、どのようなことをしていくのかを伺います。

田中村長 村の観光協会や、リゾートと協議をしながら、さまざまなメニューをやるような施策を打っていきたいというようなことで記載をさせていただきました。

2 地域交通の利用度向上

問 村内の公共機関については、周知ではなく、見直しも含めて検討するべきではと考えますが、こういった周知をして利用度を上げようとしているのかを伺います。

田中村長 地域交通は、利便性、あるいは必要な時に必要な交通がないなど、さまざまなご意見をいただいているところです。各種交通手段について、村内・村外の交通手段も含め、どう乗り継ぎ利用ができるかなどをお知らせするのも有効な方法、だろうと思います。

時間的な問題、利用のしづらさという点では、利用方法の検討も必要かと思っています。一度に何かを増やすことも難しい環境の中で、「このような使い方をしたらどうだろうか」ということも含めて、皆さんにお知らせしたいと思っていますところ

3 防災対策

問 防災対策の備蓄物資の計画的な整備とは、何名程度を想定した計画を作っていくのか、伺います。

田中村長 各避難所、それぞれ人数的なものがありますが、各指定避難所については一応、人数分を備蓄しようということ、1650名程度の備蓄物を計画的に配備したいと取り進めているところです。

教育行政 執行方針質疑

▼主な施策

1 学校教育の充実

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 地域とともに歩む学校づくりの推進
- 就学機会への支援

2 社会教育の充実

- 家庭教育の推進
- 生き生きと学ぶ生涯学習の推進
- 芸術・文化の振興
- スポーツの振興
- 社会教育施設の充実

※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



五十嵐正雄 議員

1 小中一貫教育問題は

問 中央小学校と占冠中学校で一貫教育が取り組まれました。1年間取り組んでみて、学校現場で問題点や課題について、それぞれの教員と話し合う機会を設け、新年度に生かしていくべきと思いますが、教育長の考えを伺います。

藤本教育長 小学校と中学校の先生からどういった方法で連携が深められるのか、今後の在り方について、やって来たことを振り返りながら検討していきます。

藤岡 幸次 議員

1 教育行政の重点取組は

問 教育長が重点的に取り組まれていることを伺います。

藤本教育長 地域に学校を存続させる取組みとして、ICT(情報通信技術)を活用しています。

講師を招くなどして、いろいろな要望を取り入れながら行っています。

3 スポーツ振興、指導者の育成

問 具体的な取組みがあれば伺います。

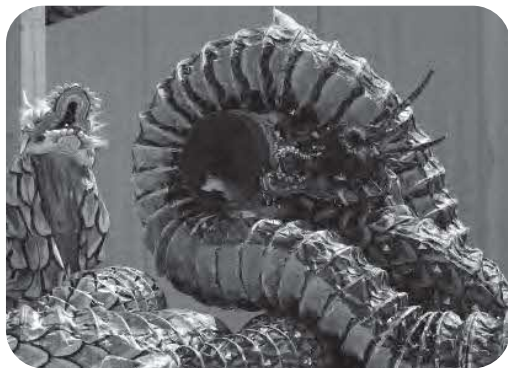
藤本教育長 現在は、スポーツ少年団活動やスキーの指導者が指導していますが、今後の課題として、村内の方を基本として、後継指導者の育成確保に努めたいと思います。

児玉 眞澄 議員

1 芸術・文化の振興

問 地域の伝統芸能をはじめとした文化の継承者の育成及び文化の継承をどのように図るのか伺います。

藤本教育長 神楽や太鼓を含め、その継承については非常に難しい問題で、決定策はもっていませんが、どういった形かで残せないか。まず、今の子供たちに教えていく必要があると考え、小学校を対象に取り組んでいるところです。



占冠神楽

2 生涯学習の推進

問 大人の教育はどのようなものがあるのか伺います。

藤本教育長 清流大学を軸にして、自分の村を知る事業を行ったり、医療関係については外部

全国に先駆けて、全児童生徒一人一人にパソコン、タブレットを1台配置し、テレビ会議システムによる遠隔地授業を行っています。また、複式学級の一つの教室にプロジェクター型電子黒板を2台入れ、同時に、デジタル教科書も入れました。今後は、活用方法を改善して、利用率を上げていく仕方を考えていきます。

令和2年度予算総額 31億4,190万円を議決 (令和元年度比11.83%減)

令和2年度 各会計別予算

会計別	予算額	前年度比	
一般会計	25億3,000万円	▲ 14.50%	
特別会計	国民健康保険	1億6,010万円	0.05%
	村立診療所	8,270万円	▲ 4.94%
	簡易水道	1億2,110万円	8.61%
	公共下水道	9,170万円	▲ 11.91%
	介護保険	1億1,700万円	5.50%
	後期高齢者 歯科診療所	1,790万円	0.56%
		2,140万円	1.90%
予算総額	31億4,190万円	▲ 11.83%	

予算特別委員会(藤岡委員長)を3月10日に開催し、活発な質疑が展開されました。質疑の内容をお知らせします。

(傍聴者1人)

一般会計

◎歳入

問 個人村民税約1千万円、法人村民税約2800万円がそれぞれ前年より増加した理由を伺います。

(児玉議員)



多田総務課長 個人村民税は実績により個人の均等割が増えていること、また、給与所得金額を若干増加で積算をしました。法人村民税はリゾート関連の事業が好調のため増額を見込んでいます。

問 村たばこ税が前年より68万9千円増加した理由を伺います。

(児玉議員)

多田課長 令和2年10月から旧3級品の税率が引き上げられることから、たばこ本数は減

少傾向ですが増額を見込みました。

問 農林業費分担金が前年より減額となった理由を伺います。

(児玉議員)

平岡農林課長 平成31年度にスタートした道営草地畜産基盤整備事業の受益者農家分担金を徴収し、北海道に納入するものです。令和元年度補正917万円増額のうち、令和2年度に812万5千円繰り越すため、令和2年度当初予算だけを見れば減額となります。

問 地域情報通信基盤施設とは何か。また、使用料が前年と比べて増加している理由を伺います。

(児玉議員)

三浦企画商工課長 村が所有している光ケーブルのことであり、これを通信事業者に貸すことにより使用料を得ています。光回線の契約が順調に伸びており、前年より45万円の増額計上

をしています。

問 諸証明手数料が前年より減額となった理由を伺います。

(児玉議員)

小尾住民課長 戸籍の証明手数料を実績に合わせて18万円ほど減額計上しています。

問 ふるさと寄附金の前々年の実績は1300万円余りですが、令和2年度当初予算で950万円と減額になっていま



占冠産ゆり根が人気

す。特別な理由があるのか伺います。
(児玉議員)

三浦課長 昨年は1千万円を若干超える程度の収入しかなく、予算を算定したのが11月でしたのでこの金額としました。

再問 950万円と下方修正で積算ということですが、目標は常に高く設定し、達成する努力が必要だと思います。考えを伺います。
(児玉議員)

三浦課長 良い物を出すと、リピーターも増えます。特に占冠産ゆり根等、優良な地場産品を作るのが重要だと思います。また、トマムリゾートのスキーや宿泊等の活用を検討し、努力していきたいと思っています。

◎ 歳出

〔総務費〕

問 新地方公会計財務書類作成支援業務委託料495万円の内容と委託先を伺います。
(五十嵐議員)

多田課長 村一般会計、特別会計において国から指示されており、決算を複式簿記にて公開することになっています。税理士等を有する会社に委託し公表していくこととなります。

問 地域おこし協力隊研修負担金40万円の内容を伺います。
(五十嵐議員)

三浦課長 社会福祉協議会と村の架け橋としての役割を担っていただきたく、介護支援専門員の資格更新費用、社会福祉士の資格取得費用を計上しています。

問 北海道日本ハムファイターズ占冠村応援大使事業補助金の200万円の内容を伺います。
(五十嵐議員)

三浦課長 新年度予算が確定次第、早急に行方委員会を立ち上げ、総会を経た中で事業を決定していきます。具体的には、選手を招へいして野球教室を開催したり、ふるさと祭りにファイターズガールを招へいして交流を深める等を想定しています。

問 毎年継続して行われているトマム地区公園整備工事157万3千円の内容を伺います。
(五十嵐議員)

平川トマム支所長 トマムコミュニティセンター横にある幼児遊園地と、ミナ・トマム側からの出入りをしやすくする階段工事、トマム神社周辺の森工リアの活動を行いやすくするため

のウッドチップを敷設した園路を設けること、雨水の溜まりやすい箇所を暗渠工事を行うものです。

問 防災備蓄用備品購入費109万4千円の内容を伺います。
(五十嵐議員)

多田課長 計画的な導入をしていますが、新年度は、LEDパルーン投光器、折り畳み式リアカー、拡声器の購入を考えています。

問 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画策定支援業務委託料712万8千円の内容を伺います。
(小林議員)

多田課長 インフラの老朽化対策推進に関する関係省庁の連絡会議において、地方公共団体が本計画を策定することになっています。
平成28年度に本村で計画を策定していますが、

国からさらに速やかに個別施設毎の具体的対応方針を令和2年度中に定めることとされています。各公共施設の計画期間、優先順位、対策内容の実

施時期、対策費用等の検討を行い、本計画を補完していきたいと考えています。

問 地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金100万円の内容を伺います。
(小林議員)



三浦課長 地域おこし協力隊が任期満了後、独自に起業や事業承継をして独り立ちする際に100万円を上限に国から特別交付税措置される制度となっております。



備蓄倉庫

います。具体的には、トマム地区に新規就農を目指す諸経費に充てる予定となっております。

問 企画費の普通旅費減額と、特別旅費増額の理由を伺います。
(児玉議員)

三浦課長 普通旅費の減額理由は、地域おこし協力隊が任期満了したこと、特別旅費の増額理由は、アスペンの表敬訪問に向けて、180万円ほど計上したことによりです。

問 防災委員の報酬が減額されている理由を伺います。

多田課長 防災委員は委嘱していますが、会議時間が2時間程度であるため、規定により報酬が半額となりますので減額計上しました。

問 総務管理費諸費の消耗品費195万円の内容を伺います。
(児玉議員)

多田課長 多いのが防災関連の消耗品となります。備蓄用のアルファ化米、飲料水、毛布、段ボールベッド、トイレ用テント、簡易用トイレとなっており、防災関連で約100万円分計上しています。

【民生費】

問 占冠村障がい者等計画策定支援業務委託料300万円の内容をお願いします。(児玉議員)

木村福祉子育て支援課長 障がい者計画が令和元年度で終了しますので、次期計画の策定のためアンケート調査等を含めた委託となっております。

【衛生費】

問 飲料水供給施設改善促進補助金20万円、飲料水供給施設改善資金貸付金50万円の内容をお願いします。(児玉議員)

小林建設課長 簡易水道区域外において自家用の飲料水供給施設の新設、改善及び保全に必要な資金を貸し付ける内容となっております。今回、村内に居住している方から補助金を使い、施設を改善・更新する旨の相談があり計上しました。

【労働費】

問 労働諸費の工事請負費における2200万円の内容を伺います。(児玉議員)

三浦課長 旧占冠保育所を改修し、勤労福祉会館に作り直します。

【再問】

旧占冠保育所を一部壊し、

使える所は使うということですが、この予算で全て工事が完了すると考えてよろしいですか。(児玉議員)

多田課長 工事内容については、玄関から遊技室を残し、他の教室は取り壊します。トイレを新設し、壁・屋根の手直しを考えています。また、既設の壁の接着剤にアスベストの混入の可能性があるため、対策経費も計上していますが、アスベストが飛散して人体に影響が出ることはないので、実際に工事をする場合には工事費は減額になると考えています。



勤労福祉会館になる旧占冠保育所

問 環境整備委託料の内容を伺います。(下川議員)

三浦課長 現在使用している占

冠保育所(勤労福祉会館として新設後)の雪下ろしに係る作業委託料です。

問 物産館管理清掃委託料と物産館清掃業務の違いを伺います。(下川議員)

三浦課長 物産館管理清掃委託料は鍵の開け閉めと2階のトイレ等の清掃です。物産館清掃業務は1階の広い部屋、多目的トイレ等、全ての清掃業務です。

【農業費】

問 メープルシロップ製造業務委託料309万1千円の内容を伺います。(五十嵐議員)



根本林業振興室長 委託先は木質バイオマス生産組合を予定しています。採取量は天候や朝晩の気温差により変わり、糖度も変わります。これまでどおり、大瓶700本を目標に生産します。

また、同じ箇所のイタヤカエデで採取していくと樹木としての体力が弱ってきますので、今後は赤岩地区を想定し、整備費用も含め計上しました。

問 村有林発生材運材車賃借料の内容を伺います。(五十嵐議員)

根本室長 銘木市の出品や、薪生産に係る原木の運材を想定しています。

問 人工造林(新植)工事費の370万円の内容を伺います。(五十嵐議員)

根本室長 ホロカトマムの20林班※、1記番※、3.4haを予定しており、樹種はカラマツを予定しています。

※林班とは?
森林区画の単位のこと。
※記番とは?
森林現場の作業箇所数のこと。

問 保育下刈工事費308万4千円の内容を伺います。(五十嵐議員)

根本室長 27記番、約15haを予定しています。樹種や現地の状況を見ながら検討します。最低5年間は植えてから下刈りすることになります。

問 保育間伐工事費1039万9千円の内容を伺います。(五十嵐議員)

根本室長 3記番、約18haを予定しています。樹種はトドマツ、

アカマツ、まだ調査が終わっていない箇所もありますが、できる限り出材に向け努力します。

再問 調査が終わっていないというのですが、事前に事業量を調査し、予算を組んでいくものと理解しています。役場の林務体制は技術者1名で現地を把握していますが、他の職員も現地を見て学んでいかなければ技術の継承ができないのではないかと考えますが、伺います。(五十嵐議員)

根本室長 現地を見て条件調査し、可能な限り正確な数値で予算を算出するのが当然と考えています。また、林業技術の継承も含め、職員も現地を把握し、山づくりを皆で考えることが必要と考えています。

問 木質バイオマスエネルギー導入促進事業補助金63万円の内容を伺います。(五十嵐議員)

根本室長 薪ストーブの購入は25万円まで、設置は30万円まで、薪購入は1㎡2千円を村が補助する内容となります。

問 林業振興費、地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金の内容を伺います。(小林議員)

根本室長 林業振興室に席を置く地域おこし協力隊に対する支援金です。

問 農業次世代人材投資事業が昨年度より大幅に増額となった理由を伺います。(児玉議員)

平岡課長 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対して資金を交付する事業であり、国からの間接補助となっています。前年度は2戸でしたが、新年度は3戸の補助ということで増額となっています。

問 農業費、中山間地域直接支払交付金750万円の内容を伺います。(児玉議員)

平岡課長 農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農産地を維持管理していくための協定を締結し、それに従い、農業生産活動を行う場合に面積に応じて一定額が交付される制度です。10a当たり15000円の交付で、国費2分の1、道費4分の1、村費4分の1で農業団体等に交付されます。令和2年度からスタートし、5年1期の事業であり、これまで4期にわたって行われています。

問 農業振興・新規就農等支援対策補助金411万7千円の内容を伺います。(小林議員)

平岡課長 すべて新規就農対策の補助金となっており、就農支援金2戸210万円、農作業機械2戸168万7千円、奨励金1戸30万円、研修費3万円を計上しています。

〔土木費〕
問 村道草刈委託料の具体的な内容を伺います。(下川議員)

小林課長 村道はそれぞれ刈幅を変えており、住民の方が多く通る箇所は刈幅を広くしています。回数は路線ごとに決めており、多くても2回刈りとしています。



9万1千円2戸、8万2千円2戸で、年間415万2千円、トナムノースセラの家賃が、8万5千円4戸で年間408万円の計上です。

問 住宅管理費の社会資本整備総合交付金工事1386万円を計上しています。川添団地の1棟4戸の解体ということですが、跡地利用について伺います。

小林課長 解体後は整地をして草刈り等の管理を考えています。将来的には新しい住宅を建てると思います。面積が狭いため、当面は整地する考えです。



千歳トレーフル

再問 例えば地域の人たちが菜園として利用したいということであれば、草刈費用も抑えられるなど考えることもできると思いますが、伺います。(五十嵐議員)

小林課長 菜園等の土地利用については、今後協議していきたいと考えています。

〔教育費〕
問 小学校費教育振興費の消耗品費が479万2千円と前年度より大幅に増額となった理由を伺います。(児玉議員)

合田教育次長 令和2年度の学習指導要領の改訂に伴い、中央小学校及びトナム小学校前期課程の教科書を購入するため増額計上しています。

問 小学校費教育振興費の教育振興備品121万円、中学校費教育振興費の教育振興備品60万5千円の内容を伺います。(五十嵐議員)

合田教育次長 中央小学校に電子黒板2台、占冠中学校に電子黒板1台を導入する経費です。

村立診療所特別会計

問 占冠診療所診療報酬収入、

トナム診療所診療報酬収入それぞれ前年より減額している理由を伺います。(児玉議員)

簡易水道事業特別会計
問 歳入の給水使用料が増額となった理由を伺います。

小林課長 村内の工場での使用量の増加、高速道路パーキングエリアの使用量の増加分を計上しました。

問 占冠浄水場外機械電気更新工事として約3200万円計上していますが、昨年3300万円程計上しています。工事内容と工事期間を伺います。(児玉議員)

小林課長 平成26年度から水道費の国庫補助金を活用した事業で、毎年約3千万円程度の予算で実施しています。令和2年度が最終年となり、双珠別浄水場の情報装置の更新、水質測定機器の更新を行います。占冠浄水場も情報装置の更新、トナム浄水場は残留塩素の設備を設置する工事となっています。



▷ 財政状況について

▷ 新最終処分場の建設計画

▷ 9月定例会での質問事項の進捗状況

1 財政状況について

問 本村の財政構造について、硬直化の進行が指摘されていますが、現状の認識、また、改善に向けた新年度の取組みを伺います。

田中村長 令和元年度の決算特別委員会において、監査報告のまとめの中で、財政構造の弾力性を示す値が80%を超すと予算の自由度が乏しくなると言われる経常収支比率が96%と、本村においても経常経費が増加しています。いかに歳入を確保できる事業に転換するかが必要と考えています。

新年度においても、厳しい財政が継続するとの見方から、改善に向け、経常経費の削減と自主財源の確保に粘り強く取り組んでいきます。

2 新最終処分場の建設計画について

問 各施設の建設スケジュール、総事業費及び資金手当ての方法を伺います。

田中村長 嵩上げ工事は、水処理施設、計量施設、処分場の造成工事が主な事業ですが、これらの事業は令和3年度に実施

し、供用開始は令和4年4月を予定しています。総事業費は、約2億5千万円で、財源は過疎対策事業債及び一般財源で実施する予定です。

問 本村の予算規模から見ても保育所建設に続き一大事業ですが、これによる財政状況に及ぼす影響が危惧されます。見解を伺います。

田中村長 本事業は過疎対策事業債を財源とする計画でありまして、一般財源の負担を最小限に留め、財政負担の軽減を図りたいという提案です。

問 この建設にあたって、リゾート2社に負担を求める考えはあるか伺います。

田中村長 リゾート2社に負担を求める考えはもっていません。

問 負担を求めない理由は何でしょうか。

田中村長 トナムリゾートは村の基幹産業として、一つの経済循環の大きな柱であり、村有施設売上の履行、固定資産税

の確保、村民法人税の税収、また、宿泊税の導入を踏まえて、特別な負担は求めないということです。

問 一般廃棄物処理基本計画が概要説明のみで、最終報告が議会にも村民にも提示されない理由を伺います。

田中村長 計画書の策定業務は終了していますが、令和元年度の実績を基にごみ排出量の推計



物産館2階郷土資料室

を見直すこととしていました。その結果を改めてご説明させていただいた考えでしたが、今ある計画書を提示することはできませんので、お出しします。

3 9月定例会での質問事項の進捗状況

問 物産館1階空きスペース対策について現状を伺います。

田中村長 メーブルシロップを活用したカフェや六次化産品のPRスペースとしての利用を視野に入れていましたが、民間レベルの事業が進まなかったこともあり、現状ではサテライトオフィスの利用できないか、道のホームページで情報提供を行っていたと予定となっています。

問 物産館2階郷土資料室について、この半年間で改善に向けて、どのように対応されたのか。また、今後の取組みについて伺います。

藤本教育長 展示ケースの清掃は行いましたが、管理や整備の面は滞っていますので、新年度で教育委員会だけの判断ではなく、いろいろなご意見も取り入れてやっていきたいと考えています。

藤岡
幸次 議員



▷災害対策について

▷湯の沢温泉の今後のあり方

1 救急出動態勢

問 トナムリゾート対応、高速道路事故出動増加の現状を踏まえた、今後の出動態勢について考えを伺います。

田中村長 令和元年には、平成23年比でリゾート関連が22.5%、高速道路関連が48.0%の増加となっており、広域連合管内の応援体制強化や人員確保、体制維持に努めます。

問 安全管理の観点から署員の増員に取組むべきと思いますが考えを伺います。

田中村長 占冠の財政状況から、広域連合の一員として他消防署から応援をいただくのが、現状最善だと思います。

2 河川災害に備えた装備

問 河川災害に備えて、村、消防関係者の安全確保と迅速対応に向けた救難活動装備の配備について伺います。

田中村長 ゴムボート一艇、救命胴衣大人6着、子供3着、救命浮き輪1個配備しています。

問 大規模災害時を想定すると、救助を行う消防署員のウェットスーツ、ボートの船外機は危機管理の観点から必要ではないですか、考えを伺います。

田中村長 現場と協議しながら装備品について検討を進めたいと思います。

3 新型コロナウイルス対策

問 医療関係者、消防署員の防護服の手当ては十分ですか。また、署内感染予防として消防仮眠室の個室化の取組みについて現状と方向性を伺います。



防護服着脱訓練の様子

田中村長 診療所内はガウン式の物を一式、消防署は同様に12着用意しています。

仮眠室は優先順位を決めて現場と協議を進めています。

4 地域防災マネージャー

問 村民の生命と財産を守る観点から地域防災マネージャーを本村に配置する考えがあるか伺います。

田中村長 災害発生時には、リエゾンと呼ばれる災害対策現地情報連絡員が関係機関より派遣され、関係機関との調整、情報連絡を実施する体制が、現状、確立していますので、村として防災マネージャーの配置は検討していません。

5 湯の沢温泉の今後の在り方

問 湯の沢温泉の今後の税源投入と、福祉サービスの観点から見た今後の在り方について、考えを伺います。

田中村長 村内唯一の入浴施設として、今後も必要な修繕実施をしながら運営を継続していく考えです。

問 財源投入の改善を図り、若

い親子世代も楽しめるような魅力化に取組む考えはないか、伺います。

田中村長 指定管理料を営業で賄えるように事業者とも協議を進め、さらなる利用促進に努めたいと思います。

問 子供の遊び場、足湯のサービスマンなど楽しめる空間づくりについて考えを伺います。

田中村長 財源状況を踏まえながら協議を進めていきたいと思っています。



温泉横のスペース活用を

議員の主なうごき

令和元年12月定例会終了後から令和2年3月定例会まで

12月 13日(金)	広報特別委員会①(各委員) 全員協議会(各議員)	12日(水)	令和元年度富良野地域人材開発センター 連絡会議(上富良野町-正副議長) 富良野沿線市町村長・正副議長合同会議 (上富良野町-正副議長)
1月 5日(日)	令和2年富良野広域連合占冠消防出初式 新年祝賀会(各議員)	13日(木)	道北林活議連連絡会総会 (旭川市-各議員)
10日(金)	広報特別委員会②(各委員)	17日(月)	上川町村議会議長会定期総会 (旭川市-議長)
11日(土)	令和2年占冠村成人式(正副議長)	20日(木)	総務産業常任委員会(各委員) 全員協議会(各議員) 富良野広域連合消防占冠支署予算勉強会 (各議員)
16日(木)	広報特別委員会③(各委員)	25日(火)	根室本線の路線維持に向けた意見交換会 (札幌市-議長)
21日(火)	南富良野町議会 川村勝彦議長来庁 (正副議長)	26日(水)	議会運営委員会(各委員)
23日(木)	「大場剛」第1特科団長来町に伴う歓迎会 (上富良野町-議長)		
24日(金)	2020春闘旗開き団結家族パーティ (議長)		
26日(日)	故小林孝男様通夜(富良野市-議長)		
31日(金)	正副議長会議		
2月 4日(火)	元占冠村議会副議長 故瀬屑頼義様通夜 (富良野市-議長)		
		【広域連合関係】	
5日(水)	元占冠村議会副議長 故瀬屑頼義様告別式 (富良野市-議長)	1月 16日(木)	富良野広域連合議会勉強会 (相川議員、小林議員、下川議員)
7日(金)	令和元年度中学生短期交換留学(派遣) 事業報告会(各議員)	2月 6日(木)	議会運営委員会 (富良野市-相川議員、小林議員)
11日(火)	北海道議会議員たけうち英順連合後援会 新年交礼会(美瑛町-議長)	14日(金)	富良野広域連合令和2年第1回定例会 (富良野市-相川議員、小林議員、下川議員)
12日(水)	全員協議会		

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



相川議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の
予定

6月定例会 → 6月18日(木)・19日(金)

※いずれも午前10:00開会
※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

広報からのお知らせ

▼議会広報特別委員会(前期)
委員長 藤岡幸次
副委員長 下川園子
委員 大谷元江
委員 五十嵐正雄

二題目は中国武漢市で発生した新型コロナウイルスウィルス感染症です。世界中を駆け巡り恐怖を募らせています。北海道でも各地に拡散し、小中学校、高校の休校が一斉に実施され、共働きの家庭や父子家庭・母子家庭では対応に追われ混乱が起きています。日を追うごとに地域の経済は疲弊しており、本村でも道の駅のお客さんが大幅に減少し、商売が大変な状況に陥っています。村としても経済対策や労働対策を打たなければならぬかもしれません。政府の取り組み・対策の遅れも目立ちました。一日も早い終息を願うばかりです。(五十嵐)

編集 後記集

今年の冬の異常一題について一言。一題目は降雪量の少なさです。例年ですと、車庫の屋根の雪下ろしを5〜6回やって

発行：占冠村議会 責任者・編集：議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>